



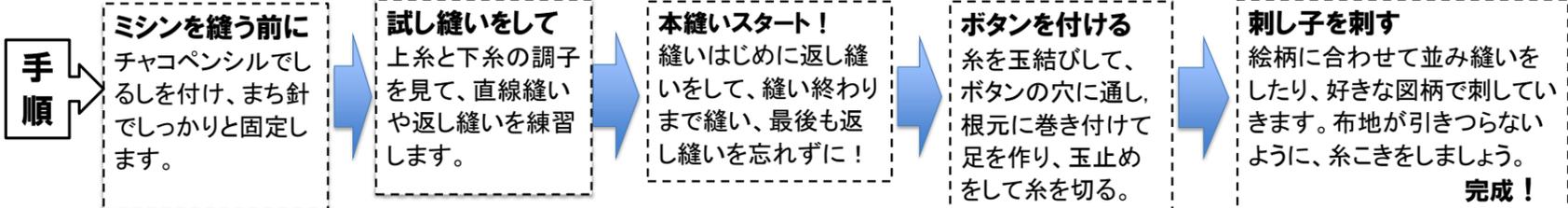
中学3年生は「ko*ha*baマイ箸」を製作しています。



今年度着任された梶江先生です。



スライドで作業を確認!



まずはしるし付けから!



竹定規を使います。

被服室には、1人1台のコンピューターミシンがあります。



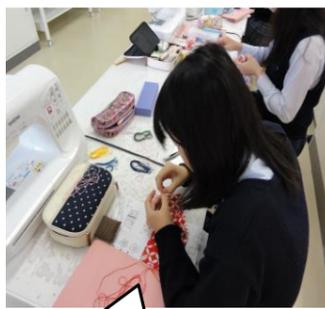
集中して取り組んでいます。



一針一針縫っています。



丁寧にボタン付けしています。



刺し子の糸が太いので針穴に糸を通すのがむずかしい...

マイ箸を使うと...

マイ箸を持ち歩いて割り箸を使わない、ただそれだけで、森林も自分の身を守ることができ、さらに、たくさんのゴミやCO2の排出量を減らすことまでできるのです。作品が返却されたら、是非活用してください。

水玉柄を上手く利用していますね!



刺し子が模様になっていますが、どこに刺し子がされているか分かりますか?



色の使い方と、模様がとても綺麗に出来ました!

糸の色が柄と合っていて、刺し子が柄のポイントになっています。



小幅布

小幅布は、30~40cmの小ぶりな布なので、小幅布の端は布の「耳」になってほつれません。そのため、布端を始末する手間が省けます。日本の文化の象徴とも言える和服は、こうした特徴を生かして作られています。昔ながらのリサイクルの発想として見直されています。

編集後記

今回の実習は、ミシンの基本的な縫い方と日本の伝統的な刺しゅう「刺し子」に挑戦しました。刺し子は簡単な並縫いですが、縫い糸の色を変えてカラフルにしたり! オリジナルの図案で、様々な刺し子の作品が出来上がりました。

*文化祭で刺し子の作品「ko*ha*baマイ箸」を被服室前に掲示しますので、是非ご覧になってください。

